

Public Information Furubira

広
報

ふるびら

2022[令和4年]

7

月号

No.560



目次	・ 複合施設紹介.....	2
	・ 小学校大運動会、中学校陸上競技記録会.....	3
	・ たけなわ学級、わんぱく王国、 幼児センター交通安全指導.....	4
	・ 札幌大谷大学との交流.....	5
	・ 町からのお知らせ.....	6
	・ 国や道からのお知らせ、休日当番病院.....	7
	・ 後期高齢者医療制度のお知らせ.....	8
	・ すこやかふるびら.....	9
	・ 本の海より.....	10
	・ いきいき・ほのぼの文芸、人口世帯数等.....	11
	・ 歴史アルバム第4回.....	12

5月21日 古平小学校大運動会

地域交流センター紹介

1階

大ホール 調理実習室
多目的室1 多目的室2

2階

和室1 和室2

3階

中ホール 創作活動室

開館時間

火～土曜日
(午前9時～午後9時)

日曜日
(午前10時～午後6時)

月曜日、
年末年始は休館



2階

図書館 視聴覚室



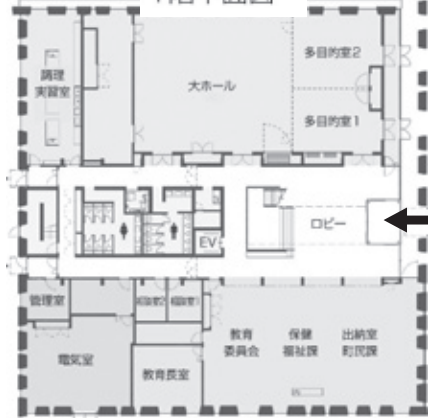
開館時間

火～日曜日
(午前10時～午後6時)

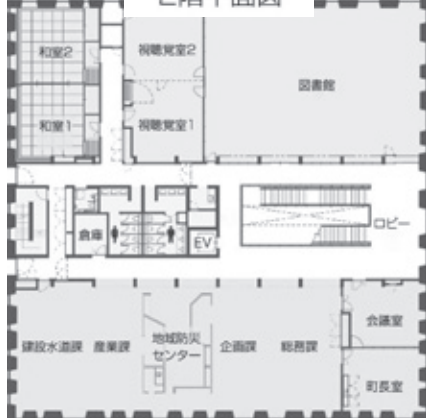
祝日
(午前10時～午後5時)

月曜日、
年末年始は休館

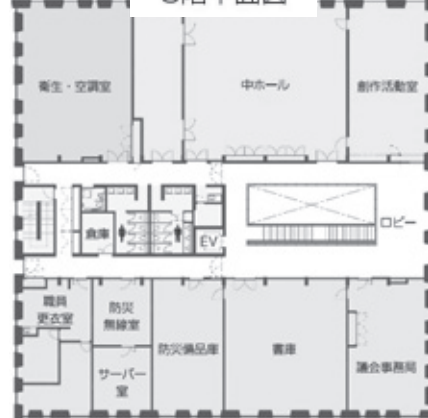
1階平面図



2階平面図



3階平面図



※地域交流センターを使用する場合は、5日前までに使用許可申請書兼使用料減免申請書を古平町役場総務課総務係に提出してください。

※町内の公共的団体（町内会など）が使用する場合を除き、使用料が必要となります。

※使用料につきましては、古平町役場総務課総務係にお問い合わせください。

古平小学校運動会が5月21日（土）に多目的運動広場（小学校前グラウンド）で行われました。

「徒競走」では、全力で走る姿に観客席から歓声が沸いていました。

紅組と白組に分かれ、「綱引き」、「玉入れ」、「古小紅白ハリケーン」など様々な競技を行い、「最後まで正々堂々闘おう!!」のスローガンのもと、全員が元気いっぱいグラウンドを駆け回りました。

小学校大運動会



古平中学校陸上競技記録会が6月3日（金）に古平中学校グラウンドで行われました。

今年度は感染症対策を講じながら、保護者応援のもと、陸上競技記録会を実施しました。

生徒たちは、学年対抗リレーやフィールド種目（走り幅跳び、走り高跳び、ボール投げ）などの競技に一生けん命挑んでいました。特に学年対抗リレーは白熱した戦いとなりとても盛り上がりしました。

中学校陸上競技記録会



5/12 たけなわ学級

今年度初めての高齢者教室たけなわ学級が5月12日に開催されました。開講式では、参加者13名に担当職員の見介や年間行事予定についての説明が行われました。



開講式の様子

開講式終了後は、余市町の円山公園で約40分間ウォーキングを行いました。



ウォーキングを楽しむ参加者

5/14 わんぱく王国

5月14日に少年少女わんぱく王国がB&G海洋センターのアリーナで開催されました。

今年度初めてのわんぱく王国では、基礎体力と運動能力の向上を図るため、3人1組で2本のロープを使って跳ぶ「ダブルダッチ」という種目に挑戦していました。

参加した12人はみんなで声を掛け合いながら楽しそうに練習していました。



ダブルダッチ練習中の参加者

5/18 幼児交通安全指導

園児たちが信号の見方や横断歩道の渡り方などを学ぶ「交通安全指導」が幼児センターで行われました。

園児たちは、幼児センターからみどり公園までを歩き、交差点や横断歩道では前後左右から車が来ていないか大きな掛け声でしっかり確認していました。

道中では、花を見つけて喜ぶなど楽しそうに歩いていました。



みどり公園まで元気よく歩いている園児たち



警察のお話を真剣に聞いている園児たち

札幌大谷大学 × 古平小学校

～ 新たな地域資源の発掘へ ～



大学校舎玄関前で。地域社会学科森ゼミの学生と森教授（下段中央）

今回、道内自治体での地域貢献活動を大学のカリキュラムに取り入れている札幌大谷大学の森教授から、古平町との新たな交流について寄稿していただくこととしました。

古平町の祭りを盛り上げる

札幌大谷大学 教授 森 雅人

近年は地域社会の様々な問題に対処するために、大学の地域貢献に注目が集まっています。私が所属する札幌大谷大学でも地域社会の内発的発展を担う「地域人」を養成するために、2012年に社会学部地域社会学科を設置しました。それ以来、道内自治体と域学連携協定を結んで、地域インターンシップとして大学のカリキュラム

に加えたり、卒業生を地域おこし協力隊員として送り出したり、様々な地域貢献活動を行ってきた。古平町の場合は、鯉漁によって繁栄し、長い歴史の中で個性的な文化を育んできた地域ですから、地域の文化資源を活かしたまちづくりのに相応しい地域として注目いたしました。

今年度は2学期中に古平小学校の子どもたちによる地域資源の発掘事業「郷土の宝さがし」を計画していますが、今回は「祭りの活用」をテーマに寄稿させていただきます。

祭りを活用するという問題に関連しては、国が2017年6月に「文化芸術基本法」を施行しており、これにより観光やまちづくり、福祉、教育、産業などの幅広い分野を取り込んでいくということを鮮明に打ち出したもの、と私は受け止めています。

地域の宝である文化財は、保護だけではなく積極的に資源として活用すべきであり、国も支援するということでしょう。

文化財の活用を意識した地域政策という意味では、2020年8月に策定された「北海道文化財保存活用大綱」も、かなり活用の方角に舵を切った内容になっています。特に文化財を地域振興や観光振興に活用すべきとしている点や、国や道の文化財指定が円滑に進む

よう指導・助言を行うといった記述が、祭りで地域を盛り上げている古平町にとっては魅力的ではないでしょうか。



古平町でのワークショップに備えて関連写真のグループ化の練習風景

古平町には慶応元（1865）年に丸山麓に社地の割譲を受けたとされる琴平神社と、その祭礼行事があります。天狗（猿田彦）の「火渡り」の神事として知られ、毎年大勢の観光客や写真愛好家が訪れています。水垢離については、木古内町の寒中みそぎ祭りが有名ですが、火でケガレを祓うという神事は道内では数少ない貴重な行事です。

古平町の祭礼は神輿の海上渡御と、町内渡御に奴と山車が供奉する形態を取っており、北海道の日本海側の漁業地域の文化伝統を今日までほぼ完全な形で伝えているのです。この貴重な祭りは、古平町のみならず、北海道の宝として育んでいくべきです。

幸いにして、平成31年3月には姥神大神宮渡御祭（江差町）が北海道指定無形民俗文化財に登録さ

れ、令和2年5月には金刀比羅神社例大祭（根室市）が続きましたので、祭りを地域の資源として活用しようとする機運は出来上がってきたようです。

とはいえ人口減少によって花代（ご祝儀）も減る中で、祭りを続けていくこと自体容易ではありません。地域住民はもとより自治体や地元企業などの理解と協力がなければ、祭りを開催することはできないのです。それに加えて3年続いたコロナ禍は、容赦なく祭りを中断させてきました。

そして、今年は3年目を迎えたのです。この3年という期間はとても重要であって、中学生や高校生の中には地元の祭りを知らずに地域を離れる者もいるということです。

コロナ禍にあつて祭りを開催するしないの判断には、複雑な地域の事情が働くとは思いますが、この度、古平町は祭りの開催を決定しました。それによって少なくとも私たちは古平町の皆様とご縁を結ぶことができます。直接交流できることを、今からとても楽しみにしています。祭りの動画撮影をしたり、古平町の祭りに関心のある地域外の方とリモートで結んだり、皆さんと一緒に活用アイデアを話し合ったり、祭りをきっかけに古平町を盛り上げていきたいと思っています。

参加申込不要!!



旧役場庁舎内覧会開催

役場が複合施設かなえーるに移転したため、旧役場庁舎を解体することとなりました。そこで、旧役場庁舎の解体工事を行う前に、町民の皆様を対象として内覧会を実施します。

日 時

7月3日(日) 10時から14時まで
ご自由に見学ください。

場 所

古平町役場旧庁舎(古平町大字浜町40番地4)

お問合せ先

古平町役場総務課総務係

☎0135-48-9835

小型家電収集ボックスの場所が変わりました

役場旧庁舎と文化会館の小型家電の収集ボックスを撤去し、5月から新たに、複合施設かなえーる1階正面入口横と新地町の古平福祉会事務所に青い使用済み小型家電の収集ボックスを設置しました。
投入可能な時間は、幼児センターを除き各施設の開場時間内です。
小型家電収集について不明な点がありましたら、町民課生活環境係にお問い合わせください。

使用済み小型家電 収集ボックス設置場所

- ・複合施設かなえーる1階
正面出入口横 (浜町50番地)
- ・古平福祉会事務局
(新地町21番地4)
- ・認定こども園ふるびら
幼児センターみらい (丸山町29番地)
- ・古平町B&G海洋センター
(浜町1715番地1)
- ・元気プラザ
(浜町644番地)

◇お問い合わせ先

古平町役場町民課生活環境係
☎0135-48-9838

ロードレース大会の中止のお知らせ

6月1日に行われた古平ロード

レース大会実行委員会では、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、参加者や運営スタッフ等の安全確保が難しいことから、10月に予定していた第47回古平ロードレース大会の中止を決定しました。

◇お問い合わせ先

古平町役場
教育委員会生涯スポーツ係
☎0135-42-2590

上水道料金の軽減申請

次の要件に該当する世帯は、申請をすることで上水道料金が軽減(以下「減免」)されます。

※既に上水道料金の減免を受けている方は、改めて申請する必要はありませんが、減免される要件を満たさない場合は、速やかに届け出てください。

〈要件〉

次の①から⑤のいずれかに該当する世帯で、住民税が非課税世帯(生活保護世帯を除く。)

- ①70歳以上の独居世帯
- ②母子世帯又は母子世帯に準ずる世帯
- ③生計の中心者が身体障害者手帳1級又は2級を所持している世帯
- ④妻が生計の中心者で、身体障害者手帳1級又は2級を所持する夫を扶養している世帯
- ⑤災害等で生活困窮している世帯

〈減免内容〉

一般家庭用の上水道料金のうち、基本料金を毎月2000円軽減します。
(基本料金23000円→21000円)

◇お問い合わせ先

古平町役場建設水道課管理係
☎ 0135-48-9841

国や道などからのお知らせ

各種自衛官等を募集します

自衛官候補生・一般曹候補生・航空学生・防衛大学校学生・防衛医科大学校医学科学生・防衛医科大学校看護学科学学生・予備自衛官補（一般・技能）を募集します。また、当事務所では、新型コロナウイルス感染症予防対策を万全にして随時説明会を行っています。

※自衛官候補生及び一般曹候補生の採用年齢は18歳以上33歳未満です。

◇お問い合わせ先

自衛隊札幌地方協力本部
小樽地域事務所
☎ 0134-22-5521

放送大学入学生募集のお知らせ

放送大学は、10月入学生を募集しています。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

全国に学習センターが設置されており、サークル活動などの学生の交流も行われています。

出願期間は、第1回は8月31日（水）まで、第2回は9月13日（火）まで。

◇資料請求・お問い合わせ先

放送大学北海道学習センター
☎ 011-736-6318

国民年金保険料免除等の申請

保険料が納め忘れの状態、万が一、障害や死亡という不慮の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられない場合があります。

経済的な理由等で国民年金保険料を納付することが困難な場合には、保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」や「納付猶予制度（50歳未満）」がありますので、役場の国民年金窓口で手続きをしてください。

令和4年度分（令和4年7月分から令和5年6月分まで）の免除等の受付は令和4年7月1日から開始されます。また、申請時点の2年1カ月前の月分までさかのぼって申請できます。

失業等により保険料を納付することが経済的に困難になったものの、申請を忘れていた期間がある方は、役場窓口か年金事務所へご相談ください。

◇お問い合わせ先

小樽年金事務所
☎ 0134-65-5002

北海道みんなの日

北海道の価値を見つめ直し、これからの北海道を考える日

1869年（明治2年）、北海道の名付け親とされる松浦武四郎が、明治政府に「北加伊道（ほっかいどう）」という名称を提案した7月17日は、「北海道みんなの日」、愛称「道

みんなの日」です。

北海道の魅力と価値を再発見し、北海道を誇りに思う心を育み、より豊かな北海道を築き上げることを期する日として平成29年に制定しました。

この日をきっかけに、道民の皆様には北海道に愛着や誇りを持つていただき、北海道の魅力を発信する機会としていただければ幸いです。

◇お問い合わせ先

北海道環境生活部
道民生活課青少年係
☎ 011-204-5663

知っていますか？

北海道の「苦情審査委員」制度

北海道が行った業務や制度の内容を審査する制度が、「北海道苦情審査委員」制度です。

皆さん自身の利害に関する苦情であれば、苦情審査委員に申立てができます。皆さんに代わって、苦情審査委員が公正で中立的な立場から、北海道の関係機関に対し、必要な調査を行います。

審査の結果、北海道の業務に不備な点や制度に問題があるときは、北海道の機関に是正や改善を求めます。もちろん、個人情報保護にも十分に配慮します。

①苦情の申立ての窓口は、道庁の道政相談センターまたは振興局の総務課です。

②北海道公式ホームページから苦情申立書をダウンロードできます。

③苦情申立書に必要事項を記入し、

窓口提出してください。
また、郵送、ファックス、メールでも申立てができます。

◇お問い合わせ先

北海道総合政策部
知事室道政相談センター
☎ 011-204-5523

7月の休日当番病院

当番病院診療時間は9～17時

7月3日（日）

森内科胃腸科医院

☎ 0135-32-3455

7月10日（日）

よいちクリニック

☎ 0135-21-4570

7月17日（日）

よいち整形外科クリニック

☎ 0135-48-5000

7月18日（月）

脳神経外科よいち汐風クリニック

☎ 0135-21-5566

7月24日（日）

わたなべ内科医院

☎ 0135-22-3989

7月31日（日）

北郷耳鼻咽喉科医院

☎ 0135-23-5533

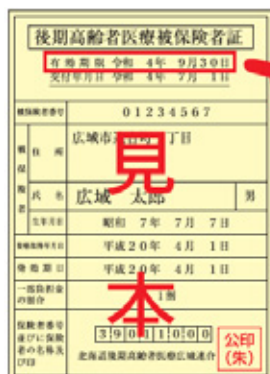
※余市協会病院（0135-23-3126）には、常時日直の医師がおり急患に限り診療します。

※夜間については余市協会病院で急患に限り診療します。

診療時間 午後6時～翌日午前7時
診療科目 内科、小児科、外科、
整形外科

後期高齢者医療制度のお知らせ

— 保険証（被保険者証）の一斉更新について —



■ 保険証が新しくなります（黄緑色→黄色）

現在ご使用の橙色の保険証の有効期限が令和4年7月31日をもって満了となるため、8月以降は使用できなくなります。

7月中に新しい保険証を交付しますので、お手元に届きましたら、黄色の保険証をご使用ください。

■ 有効期限が「令和4年9月30日」となります

窓口負担割合の見直しにともない、今回のみ有効期限が短い保険証を交付します。

9月中に、新しい保険証をみなさまへ交付します。

新しい保険証は黄色です

■ 減額認定証（限度額適用・標準負担額減額認定証）

限度証（限度額適用認定証）も新しくなります（橙色→水色）

☆減額認定証及び限度証の有効期限は「令和5年7月31日」となります

現在ご使用の橙色の減額認定証及び限度証の有効期限が令和4年7月31日をもって満了となるため、8月以降は使用できなくなります。

引き続き交付対象に該当する方は7月中に減額認定証及び限度証を交付しますので、8月1日からは水色の減額認定証及び限度証をご使用ください。

保険証と異なり、9月に再交付はありませんので捨てずにお使いください。

新たに必要となる方は、下記の交付要件に該当することをご確認の上、町民課保険係へ申請してください。

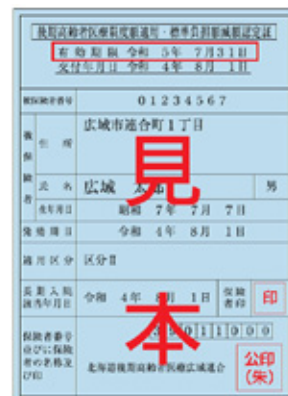
◆減額認定証の交付対象…次の区分Ⅰ又は区分Ⅱに該当する方

区分Ⅱ	○ 世帯全員が住民税非課税で区分Ⅰに該当しない方
区分Ⅰ	世帯全員が住民税非課税である方のうち、次のいずれかに該当する方
	○ 世帯全員の所得が0円の方 (公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下の方)
	○ 老齢福祉年金を受給されている方

◆限度証の交付対象…次の3区分のうち、現役並みⅠ又は現役並みⅡに該当する方

現役並みⅢ	住民税課税所得が690万円以上の被保険者と、その方と同一世帯にいる被保険者の方
現役並みⅡ	現役並みⅢに該当せず、住民税課税所得が380万円以上の被保険者と、その方と同一世帯にいる被保険者の方
現役並みⅠ	現役並みⅢ・Ⅱに該当しない3割負担の方と、その方と同一世帯にいる被保険者の方

新しい減額認定証及び限度証は水色です



お問い合わせ先

北海道後期高齢者医療広域連合
〒060-0062
札幌市中央区南2条西14丁目 国保会館6階
電話 011-290-5601

お住まいの市区町村
古平町役場 町民課保険係
電話 0135-48-9838

すこやかふるびら



けんこう カレンダー

7月

6日【水】9:30~11:00

西部お達者クラブ

西部集会所

12日【火】13:00~14:00

健康相談

ふるびら温泉

20日【水】9:30~11:00

沖・浜町お達者クラブ

複合施設 かなえーる

21日【木】14:00~16:00

こころの健康相談

倶知安保健所

※3日前までにご予約ください

Tel:0136-23-1957 (倶知安保健所)



暑い夏こそ
夏野菜が必要です



食物繊維が豊富
血糖値の急激な上昇を抑えたり
コレステロールの吸収を抑えて
動脈硬化を予防します。

カリウムいっぱい
カリウムはナトリウムを排泄
して高血圧の予防に働きます。
抗酸化ビタミンが豊富
抗酸化作用があるビタミンA
C Eは血中のコレステロールの
酸化を抑えて動脈硬化の予防
に働きます。
水分を多く含む
野菜に含まれる水分も血栓症
の原因のひとつである『脱水』
予防に有効です。

夏 真つ盛り
しっかりと食べて

夏バテ予防

①

茄子のカレー

簡単

野菜たっぷりメニュー

Cooking



材料

茄子 3本 (270g)

豚ひき肉 150g

玉ねぎ 100g

サラダ油 大さじ2

生姜・ニンニク 各1かけ

カレー粉 おおさじ1と1/2

水 カップ1/3

トマトケチャップ 大さじ2

塩 小さじ1/2

作り方

1 なすは1.5cmくらいの角
に切りサラダ油を絡める

2 玉ねぎは粗みじん切り、
しょうが、にんにくはすりお
ろす

3 フライパンを熱して1を広
げ入れ中火で動かさずに2分
焼き、さらに上下を返しなが
ら2~3分焼く。2とカレー
粉を順に加えて2~3分ずつ
炒め、ひき肉を加えて色が変
わるまで炒める



4 水、トマトケチャップ、塩
を加え煮立ったら弱火で5分
煮る

5 器にご飯を盛り4をかける

お問い合わせ

古平町役場

保健福祉課健康推進係

☎ 0135-48-9839

(内線) 133・134



本の海より

～新刊と新聞検索サービスが入りました～

古平町図書館新刊のお知らせ

古平町図書館に新刊図書が入りました。今回は150冊近く新しい本が入り、その中には賞を受賞した作品や、映画化された作品などがあります。ぜひ図書館に足を運んでみてください。

『塞王の楯』

今村翔吾【作】

第166回直木賞受賞作
「石垣」対「鉄砲」、戦火の中で
生きた職人同士の戦いを描いた
小説。



『鬼遊び 鬼よぶわらべ歌』

廣嶋玲子【作】

「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」シリーズの作者による、鬼と子供たちの「静かな恐怖」の物語。



『工場夜景』

工場ナイトクルーズ【編】

日本初の「夜の工場」写真集。
また、夜間限定の工場さんぽに
必携のマップ&鑑賞ポイントを
紹介している。



図書館のパソコンで使える新聞検索サービス ～ELDBアカデミック～

図書館では、「ELDBアカデミック」というサイトにアクセスすることができます。ELDBアカデミックとは、新聞のデータベースで、過去（34年前）の掲載記事を検索し、閲覧することができます。全国紙、地方紙を横断的に検索ができ、記事見出しと記事原文を表示し、印刷も可能です。

対象紙一覧

全国紙	朝日新聞 読売新聞 毎日新聞 産経新聞 日本経済新聞
ブロック紙・ 地方紙（49紙）	北海道新聞 河北新報 東京新聞 中日新聞 中国新聞 西日本新聞 北日本新聞 南日本新聞 など
専門紙（48紙）	日刊工業新聞 日経産業新聞 日経MJ（流通新聞） フジサンケイビジネスアイ 電波新聞 電気新聞 化学工業日報 など
スポーツ紙	夕刊フジ 日刊ゲンダイ 日刊スポーツ 報知新聞 スポーツニッポン

古平町図書館 複合施設「かなえーる」2階

開館日：火～日 10:00～18:00・祝日 10:00～17:00

閉館日：月・年末年始（12月31日～1月5日）・蔵書点検期間

貸出期間：2週間 貸出冊数：1人15冊まで（図書と雑誌を合わせて）



[臨時休館のお知らせ]

7月10日（日）は選挙の投票会場となるため、臨時休館とさせていただきます。

いきいき・ほのぼの文芸

古平町岬短歌会

春の海ぎんなん草やふのりなど一味違っおいしさ嬉し

小山内 いお子

春の庭いろとりどりに咲きいでて眼に映る花どれも愛しき

大谷 マサイ

木の根元トドがいるかと目をこらし型がそっくり雪の消えあと

斎藤 睦子

今すこし生きて良き短歌作りたく日頃の思いに満たされてゆく

坂本 信子

姪っ子とハワイ旅行の計画も何時になるやらコロナ退散

佐々木 とも子

食卓に並ぶメニューも少しづつ色とりどりで賑やかになり

田中 香苗

むらさぎのフロックス一輪咲きはわが庭の角増えることなく

寺田 カツ子

古平俳句会

海山の思ひ出匂ふ夏帽子

鈴蘭の香り漂ふ裏通り

夏木立朽ちしサイロ隠しけり

五月雨や枝の葉光る昼下が

漁村にも吹く風薫る朝来たり

浮き雲や風に流るゝ夏の空

渡辺 嘉之

吉田 金治

雷神や平れ伏すごとく日本海

少子化のブランド広し運動会

郭公やコタン岬意のままに

万緑へ消え行く道の白さかな

男梅雨岬の潮目は船おかつ

浜風を上手く乗り継ぐ夏の喋

室谷 弘子

仲谷 比呂古

町の人口と世帯数

前月比

人口	2,755人	(1)
男	1,295人	(1)
女	1,460人	(0)
世帯数	1,657世帯	(4)
上記のうち		
外国人	33人	(2)
男	8人	(3)
女	25人	(-1)

令和4年5月末日現在
住民基本台帳人口

ご冥福をお祈りいたします

氏名	年齢	死亡日	町内
山貝 保さん	101歳	4・28	本町
会田 寿一さん	79歳	5・2	栄町
永川 喜啓さん	64歳	5・16	歌葉町
堀 勝治さん	99歳	5・19	港町
佐藤 定光さん	80歳	5・27	清住

ご寄付いただき誠に
ありがとうございました(敬称略)

◎現金
100,000円
堀 信
(小樽市)

◎物品
液晶テレビ等備品一式
古平奉仕会 会長 白川 浩一
(浜町)



ふるびら歴史アルバム

第4回

幼児センターで交通ルールの重要性を学習する交通安全指導が行われました。
そこで、第4回目は交通安全をテーマに古平町警察署の写真が残っていたので紹介します。
古平町警察署廃庁式は昭和29年6月30日に行われました。

